

平成 20 年 12 月 29 日
商 工 中 金

省エネルギー事業を金融面からサポート 商工中金が医療法人社団映寿会に対して設備資金 4,500 万円融資

商工中金（金沢支店）は、12月29日、医療法人社団映寿会（本社：石川県金沢市、理事長：北元喜洋氏）に対して、エネルギー消費量と環境負荷の低減への取組みに必要な設備資金を4,500万円融資しました。

医療法人社団映寿会は熱源機械の空調及び給湯熱源設備を、従来の重油ボイラーから省エネタイプの全電機式ヒートポンプシステムに置き換えることで、エネルギー消費量と環境負荷の低減に取り組めます。この設備投資により、年間80KLの重油使用量の削減効果が見込まれています。

また、当該事業は独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の平成20年度エネルギー使用合理化事業者支援補助金事業（※）に指定されています。

商工中金は、中小企業の環境配慮への取組みを促進していくために、地方公共団体等との連携を深め、企業の皆さまが行う環境保全活動を積極的にサポートしていきます。

◆医療法人社団映寿会の概要

所在地	石川県金沢市鞍月東1丁目8番地	資本金	1億5,000万円
理事長	北元 喜洋	従業員数	196人（病院部門）
業種	医療業		

（※）エネルギー使用合理化事業者支援補助金事業

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構のエネルギー使用合理化事業者支援補助金は、経済産業省が定めたエネルギー使用合理化事業者支援補助金交付要綱第3条に基づく国庫補助金を省エネルギー効果が高いと見込まれ、費用対効果が優れていると認められる設備・技術を導入しようとする方に交付するものです。

平成20年度は全国389件が採択されています。